

平成 20 年度試験研究成果書

区分	指導	題名	集落営農組織の現状と展開方向	
[要約] アンケート及び事例調査等を踏まえ、岩手県の集落営農組織の現状と課題を整理するとともに、集落営農の組織化、法人化、経営基盤確立のための経営対応や支援方策、特に、米価低迷基調下において経営の維持・発展に欠かすことができない経営多角化に向けた具体的な取り組み方策等について、報告書としてとりまとめた。				
キーワード	アンケート	事例調査	経営多角化	企画管理部 農業経営研究室

1 背景とねらい

集落営農組織の育成・支援に資するため、アンケート及び事例調査等を踏まえ、品目横断的経営安定対策に加入した本県の集落営農組織の現状と課題を整理するとともに、集落営農組織の発展段階別の対応策、園芸品目や加工・販売等の経営多角化に向けた取り組み方策について提案する。(推進構想の分野：農業構造・経営管理、重点目標：主要な経営類型の経営管理方策の提示)

2 成果の内容

- (1) 品目横断的経営安定対策に加入申請した全 377 集落営農組織を対象としたアンケート及び加入申請書の分析から、岩手県の集落営農組織の現状と課題について整理した(章)。さらに、農協等の指導機関(5 事例)、岩手県内の集落営農組織(発展段階別 14 事例)、既に経営多角化に取り組んでいる先進的集落営農型法人(西日本 4 事例)の事例調査を行い、地域の概要、組織化の契機、経営の現状と課題、今後の展開方向等について整理した(章、 章)。
- (2) 岩手県の多くの集落営農組織は、構成員個々が自らの機械を用い所有水田の作業を行っているなど、品目横断的経営安定対策加入前の営農形態を踏襲したまま、経理事務のみを一元化した形式で運営されている。そのため、組織化によるコスト削減や省力化にはつながらず、現状のままでは集落営農組織の持続と経営展開は難しい状況にある。今後、法人化や経営基盤確立を進めるにあたっては、集落農家の話し合いの場をもち、集落営農を実施する意義が理解されるよう意識改革を図ったうえで、目指すべき方向を明確化することが喫緊の課題である(章 3 節)。
- (3) 米価低迷基調下で、約半数の集落営農組織が、今後、園芸、加工・販売などの経営多角化を検討している。先進事例調査をもとに、集落営農組織における多角化部門の導入方式を、水平的多角化(園芸導入)4 類型、垂直的多角化(加工・販売)3 類型に分類するとともに、それぞれの特徴、適応地域・経営、導入適品目、導入・定着のポイントなどを整理した(章 5 節)。

3 成果活用上の留意事項

本成果の内容の詳細は、研究報告書「集落営農組織の現状と展開方向」を参照のこと。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者
県農林水産部農政関係課及び現地機関(農政担当部、普及センター)、市町村、県農業会議、県農協中央会、全農岩手県本部、各農協、集落コーディネーター、集落営農の代表者
- (2) 期待する活用効果
集落営農組織の発展段階に応じた指導(組織設立、法人化、経営多角化等)を行う際の参考になる。

5 当該事項に係る試験研究課題

(H18-02) 地域水田農業における園芸作物の導入・定着に関する労務管理手法の導入[H18～H21、県単]

6 参考資料・文献

- (1) 前山薫「岩手県における集落営農の現状と課題 品目横断的経営安定対策加入組織を対象として」『第43回東北農業経済学会岩手大会報告要旨』, 2007年, pp.19-28.
- (2) 平成16年度試験研究成果書『水田作を中心とした集落型法人の課題と展開方向』
- (3) 安藤光義『地域農業の維持再生を目指す集落営農』, 2004年.
- (4) 楠本雅弘『地域の多様な条件を生かす集落営農 作り方・運営・経営管理の実際』, 2006年.

7 試験成績の概要(具体的なデータ)

(1) 研究報告書名

集落営農組織の現状と展開方向(A4版、203ページ)
岩手県における集落営農組織の調査分析を中心として

(2) 目次(掲載内容)

章 岩手県における集落営農組織の展開方向・支援方策

1. はじめに
2. 本稿の構成
3. 品目横断的経営安定対策に加入した集落営農組織の現状と課題
 - 1) 現状と課題
 - 2) 今後の対応方向 話し合いによる目指すべき方向の明確化、共有化が重要
4. 集落営農の発展段階別の課題と対応策
 - 1) 組織設立まで 個別営農期から法人設立準備期
 - 2) 法人設立まで 法人設立準備期から法人創業期
 - 3) 法人創業期 水稲作の経営内への取込
 - 4) 経営展開期 事業範囲の拡大、経営多角化の試行
 - 5) 経営確立期 水田作、多角化部門の並立
5. 集落営農組織における経営多角化の方向
 - 1) 経営多角化の方向と導入・定着条件
 - 2) 水平的多角化の類型 園芸導入を中心に
 - 3) 垂直的多角化の類型 農産物加工・販売を中心に

章 品目横断的経営安定対策に加入した集落営農組織に対するアンケート調査

1. 調査方法と分析課題
2. 品目横断的経営安定対策への加入申請状況
3. アンケート調査結果
4. 総括

章 岩手県における集落営農組織及び農協等の指導・支援体制に関する事例調査

1. 調査方法と分析課題
2. 指導・支援機関の事例調査結果(5事例)
3. 集落営農組織の事例調査結果(14事例)

章 経営多角化に取り組む先進的集落営農型法人事例調査

1. 調査方法と分析課題
2. 事例調査結果(4事例)

参考資料